



発行責任者: 歯学部長 宮崎 隆, 編集責任者: 広報委員長 中村 雅典
〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8 TEL: 03-3784-8000
ホームページ: <http://www.showa-u.ac.jp>



父兄会秋季部会が開催されました

歯学部長 宮崎 隆

平成29年度の父兄会秋季部会(1年生父兄を除く)が、去る10月21日(土)午後1時から旗の台校舎(医歯薬学部)と横浜校舎(保健医療学部)で開催されました。台風の影響で雨になりましたが、例年どおりの大勢の出席がありました。



歯学部全体会は4号館6階600号室で開催され、177組187名が出席しました。私から文科省が公表している国家試験合格率のデータ、夏に開催された全歯体の成績、さらに国際交流活動等を紹介して、学生が学業だけでなく課外活動にも積極的に取り組んで充実した学生生活を送れるようにご父母のご理解を求めました。美島教育委員長から進級判定ならびに卒業判定の説明があり、成績向上に向けて様々な支援体制をとっていることを紹介しました。今年初めての試みで、山本大学院運営委員長から大学院への関心を持ってもらうためにマルチドクタープログラムと特別奨学生制度の紹介がありました。上條学生部長から学生生活全般にわたる注意事項と、歯学部の学年主任・副主任の紹介がありました。

学部全体会終了後、会場を1号館に移して、ご父母と各指導担任との個別懇談が行われました。一昨年度から新しい指導担任制度がスタートし、4年生までは学部と学年の枠を超えた指導体制になりました。たとえば歯学部基礎講座に所属する指導担任は、2～4年生の歯学部に加えて薬学部の学生を混成で担当しています。指導担任は主に生活指導に力をいれ、別途学習支援の必要な学生に対して修学支援制度を導入して、成果があがっています。

3時半から7号館で医歯薬学部合同の懇親会が開催されました。與儀美由紀父兄会長の挨拶に引き続き、小口理事長から学生が充実した学生生活を送ることができるように最大限の支援をしたいとの挨拶がありました。指導担任を交えてご父母と楽しい歓談をし、午後4時半過ぎに散会しました。

昭和大学ホームカミングデーが開催されました

歯科薬理学講座 坂井 信裕

第10回昭和大学ホームカミングデーが10月8日(日)、昭和大学50年記念館において、旗が丘祭・いぶき祭に合わせて開催されました。午前11時からの開会式には、招待学年である医学部35回生(28名)、60回生(35名)、薬学部23回生(63名)、私の学年である歯学部10回生(29名)が出席しました。片岡竜太実行委員長による開式の辞に始まり、続いて小口勝司理事長、小出良平学長、山本登医学部同窓会長からのご祝辞を頂きました。次に卒業50年のゴールドン表彰、卒業25年のシルバー表彰として各学部の代表者へ記念の楯が授与されました。卒業生を代表して片桐敬先生がご挨拶をされました。また今回から招待学年より富士吉田校舎へ記念樹を植樹するために小出学長へ目録の贈呈がありました。校歌斉唱、応援指導部による演舞の披露があり、最後に田中一正副実行委員長から閉会の辞を頂きました。

開会式に引き続き、同会場で懇親会が開催されました。佐藤淳一薬学部同窓会長による開会宣言があり、鏡開きがおこなわれ、乾杯は小原希生歯学部同窓会長のご発声の後、歓談となりました。催し物として「富士吉田キャンパスの一年」、医学部35回生の李雅弘先生による「思い出のスライドショー」が上映されました。最後に大井手伸行副実行委員長により中締めのご挨拶があり懇親会は終了しました。

夕方から場所をグランドプリンスホテル新高輪に移動し、医歯薬合同同期会が開催されました。歯学部からは39名が出席しました。10回生としては、卒業10年目に品川で同窓会を開催して以来15年ぶりでしたが、医学部、薬学部の同期とは富士吉田以来の再開だった先生も多く、懐かしい話に花が咲いていました。最後になりましたが、ホームカミングデーの運営に多大なご協力いただきました昭和大学総務部総務課と昭和大学同窓会の皆様に深く感謝申し上げます。



歯薬合同入試説明会が開催されました

入学支援課 鳥山 ちひろ



平成29年9月16日(土)旗の台キャンパスにて歯学部入試説明会が薬学部と同日で開催されました。当日は台風接近のため悪天候でしたが、歯学部入試説明会には本学に興味のある高校1年生から今年度受験予定者の方まで保護者を含め91組140名と、昨年度の69組108名を大きく上回る方にご参加いただきました。

会場となった4号館5階500号教室では、まず歯周病学山本教授による「入試概要」についての説明に始まり、その後、駿台予備学校講師より、「英語」、「数学」を40分間、「化学」、「生物」、「物理」を25分間の順に問題解説が実施されました。また、希望者には入試担当教員との個別面談が行われ、参加者からは、“ますます入学したいというモチベーションの向上と試験への緊張感が高まりました。合格するように頑張ります。ありがとうございました。”、“傾向と対策が分かり、大変役に立ちました。ありがとうございました。”との声が寄せられ、大変好評のうちに終了しました。引き続き、11月19日(日)に富士吉田校舎オープンキャンパスを開催します。

第111回歯科医師国家試験の日程が決まりました

教育委員長 美島 健二

朝夕と急に涼しくなり秋を通り過ぎ冬支度が必要な気候となって参りました。さて、6年生はいよいよ国家試験に向かってラストスパートを開始しております。第111回歯科医師国家試験の実施日程は来年の2月3日(土)、4日(日)と公示され、今回から新しい国家試験出題基準のもと実施されます。国家試験関連の手続きは10月3日に第1回受験手続き説明会が行われ、11月中に出願、来年の1月に受験票交付という流れになります。また、合格発表は来年の3月19日(月)14時に行われます。

卒業試験Ⅰが9月25日、26日と施行され、さらに卒業試験Ⅱが11月6日、7日、Ⅲが年を開けて1月4日、5日の実施予定となっています。全員卒業、全員合格を目指して必ずや力を発揮してくれることと期待しています。

昭和大学解剖慰霊祭が挙行されました

口腔解剖学講座 中村 雅典

平成29年度昭和大学解剖慰霊祭が10月17日(火)午後2時より、御遺族・来賓・学内関係者・学生の参列のもと、上條講堂においてしめやかに行われました。本年度慰霊された献体者は病理解剖または解剖学実習のための正常解剖に供された方々で、この中には歯学部の解剖学実習のために献体された方22柱が含まれています。今年も歯学部の人体解剖学実習は4月から7月まで行われました。医学・歯学を学ぶためには解剖学実習はなくてはならず、そのためにはご遺体の提供は不可欠です。残念ながら、国際的には解剖体の減少のため、医学教育の中で人体解剖実習を断念する医学部が増えてきています。このような中で、日本では、献体制度が社会に認知され、全ての医学部・歯学部で滞りなく人体解剖実習を行うことができます。解剖実習献体者と御遺族に対して大切なご遺体を解剖させていただいた御恩を深く感じて、お礼をするために歯学部からは2年生が参列いたしました。開会の辞に続いて、物故者の御冥福をお祈りして、参列者全員で黙祷が捧げられました。昭和大学を代表して医学部解剖学講座肉眼解剖学部門の大塚成人教授が祭文を述べられました。歯学部からは学生代表として近江京香さんが弔辞を述べました。小出学長より参列者に御礼と感謝の気持ちを述べた御挨拶があり、次いで参列者全員が祭壇の前で献花を捧げて午後3時すぎに解剖慰霊祭は終了しました。



受賞

広報委員長 中村 雅典

平成29年度歯科基礎医学会ベストペーパー賞

宮本 洋一 (口腔生化学講座)

第59回歯科基礎医学会学術大会モリタ優秀発表賞

大田 千明 (歯内治療学部門)

那小屋 公太 (新潟大学・昭和大学兼任講師)

大学院秋季修了式が挙行されました

大学院運営委員長 山本 松男

9月28日(木)
午後4時から、16号館3階講義室で昭和大学大学院秋季修了式が挙行されました。昭和大学管弦楽団の演奏の後、学長より各学部代表者に対して学位記の授与が行われました。



今年度秋季修了生は、歯学研究科1名、医学研究科7名、薬学研究科1名、保健医療学研究科博士前期課程(論文コース)7名、同(CNSコース)1名、博士後期課程1名、総勢18名でした。学長告示、理事長祝辞を賜った後、各研究科長の挨拶をいただきました。「大学院で学んだ後は、教育者、研究者としての一歩を踏み出すという意味である」とのお言葉に、アカデミックガウンと帽子を着用した大学院修了生は真剣なまなざしで耳を傾けていました。修了生を代表して藤倉満美子さん(口腔病理学)が昭和大学宣言を行い、修了生および昭和大学関係者全員で唱和しました。その後、研究科ごとに学位記伝達式が行われました。社会の変化に対応するために医療は急速に複雑さを増していますが、大学院で学んだ「考える力」をもとに臨床・教育・研究の3分野で活躍されることを祈念いたします。おめでとうございます。

鹿児島夏期全国歯学生離島実習プログラムに参加しました

歯学部3年 山田 明佳

8月22日～25日に、鹿児島大学主催のプログラムで鹿児島県の種子島に行かせていただきました。

えのもと歯科医院の榎本先生のもとで実習させていただき、外来見学だけでなく、訪問診療にも付き添わせていただきました。種子島では農業が盛んで、お米の収穫期には外来患者さんが減ることや、大きな病院がないため、小児歯科の受診を希望する場合や大きな手術を必要とする患者さんは、鹿児島本土にある大学病院まで船で行かなければならないことなどを知り、離島ならではの医療の大変さや地域の特徴を感じました。訪問診療では介護施設に伺いました。先生は車で30分以上もかかる患者さんのご自宅まで訪問されていると伺い、驚いたのと同時に、仕事に対する姿勢や意識の高さに尊敬の念を抱きました。そして、外来に来ることができない患者さんが義歯の調

整を受けて喜んでいる姿を見て、改めて訪問診療の必要性を実感しました。そのほか、種子島医療センターの研修発表会や、介護施設の様子も見学させていただきました。

4日間を通じて、種子島の美しい自然のもと、たくさんの出会いの中で島の皆さんの温かさを感じ、本当に有意義で充実した時間を過ごすことができました。離島での医療を間近で見ることにより、その地域に合った医療の大切さを改めて学ぶことができたように感じます。この経験を忘れず、地域医療を実践できる歯科医師を目指し、より一層これからの学生生活に励んでいきたいと思えます。

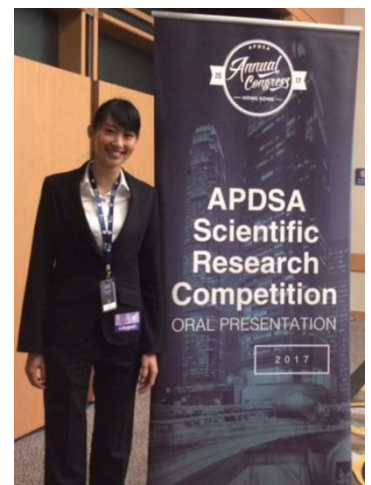


APDSAで発表しました

歯学部4年 家泉 裕香

8月上旬、香港にて開催されたアジア太平洋歯科学学生会議(APDSA)に参加して参りました。Scientific Research Competitionにおけるオーラル部門では、昨年度の研究入門にて取り組んだ「細胞外マトリックスタンパク質である Nephronectin が IL- β により発現抑制される」という研究内容について、英語で10分間プレゼンテーションを行いました。受賞はなりませんが、大変貴重な経験をさせて頂きました。

研究をさせて頂いた口腔生化学教室の上條先生、山田先生、英語での発表練習をして下さった国際交流センターの橋本先生、マイヤース先生、平泉先生に心より御礼申し上げます。



行事予定

広報委員長 中村 雅典

11月 3日(金): 推薦・編入入試

11月15日(水): 創立記念日

歯科基礎医学会ベストペーパー賞を受賞しました

口腔生化学講座 宮本 洋一

歯科基礎医学会の機関紙に発表いたしました論文「Degradation of bradykinin by a metalloendopeptidase from *Streptococcus pyogenes*. Journal of Oral Biosciences, 58: 167-172, 2016」が思い掛けず、平成29年度歯科基礎医学会ベストペーパー賞に選出され、第59回歯科基礎医学会学術大会(9月16日～18日、松本歯科大学キャンパス)にて理事長の西原達次先生から表彰されました。



溶連菌の既知のペプチダーゼの精製を試みている過程で、別のペプチダーゼの存在を想定することが必要になり、私は少しの間だけ

興奮しておりました。ところが、すでに解読されていた同菌のゲノムに活性を説明できる遺伝子候補があることがわかり、少々がっかりした反面、多くの先生方のご協力により研究が進み、論文にできたという、私なりに思い出のある仕事です。

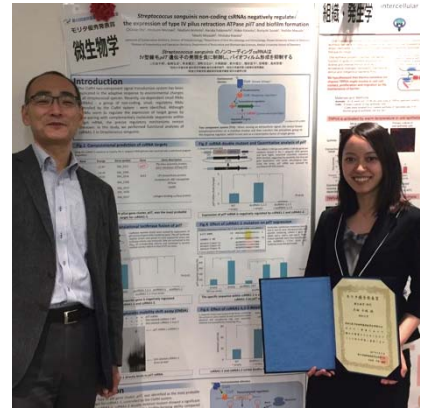
本論文は、たくさんの先生方のチームワークで完成できたもので、私が代表で表彰状をいただいたと考えております。スペース上、お名前を記載できませんが、改めて共同著者の皆様に心より感謝申し上げます。

第59回基礎医学会モリタ優秀発表賞を受賞しました

大学院4年(歯内治療学専攻) 大田 千明

9月16日～18日に松本歯科大学にて開催されました第59回歯科基礎医学会学術大会にてポスター発表をして参りました。本大会は歯科基礎医学に係わる解剖学、組織・発生学、生理学、生化学、微生物学、薬理学、病理学の複合分野から構成され、基礎研究の発表・議論のみならず若手研究者の育成の場として開催されています。若手研究者のポスター討論は、皆が自信を持ってそれぞれの分野の視点から意見しており、非常に活気にあふれたものとなりました。また、私が発表しました演題「*Streptococcus sanguinis* のノンコーディング csRNA は IV 型線毛 *pilT* 遺伝子の発現を負に制御し、バイオフィルム形成を抑制する」が、モリタ優秀発表賞(微生物学部門)を受賞いたしました。これまでの研究が受賞という形で実を結んだことをとても嬉しく思います。今回の受賞

は、口腔微生物学の桑田啓貴教授、森崎弘史先生、歯内治療学の鈴木規元准教授をはじめとした多くの先生方のご指導によるものです。この場をお借りして心より感謝申し上げます。



第59回基礎医学会モリタ優秀発表賞を受賞しました

新潟大学 那小屋 公太

今春大学院を卒業し、現在新潟大学大学院医歯学総合研究科摂食嚥下リハビリテーション学分野医員並びに昭和大学歯学部口腔生理学講座兼任講師を勤めております那小屋公太と申します。この度、9月16日～18日に松本歯科大学で開催されました第59回歯科基礎医学会学術大会においてモリタ優秀発表賞(生理学部門)を受賞致しましたのでご報告させていただきます。「ラット三叉神経運動核背側網様体中存在する Phox2b 陽性ニューロンの生理学的・形態学的特性」という演題名にて、顎運動制御に重要な領域と考えられている三叉神経運動核背側網様体中存在する Phox2b という転写因子を持つニューロンの特性について発表致しました。発表後、他大学の先生方から多数の質問や今後の実験につながるご意見を頂き、大変有意義な学会となりました。今回得られた知見をもとに、さらに面白い結果を報告できるよう今後の実験に精進したいと思います。

最後になりましたが、ご指導頂きました井上富雄教授、中村史朗准教授、相談に耳を傾けてくれました口腔生理学講座の皆様がこの場をお借りして心より御礼申し上げます。



編集後記

口腔生理学講座 中山 希世美

今年の10月は雨ばかり続き、例年にない寒さになりました。これから、さらに寒さの厳しい季節になります。皆様、体調など崩されぬようご自愛ください。最後になりましたが、大変お忙しい中、ご寄稿くださいました皆様に、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。